

平成30年度 社会福祉法人で・ふ・か 事業報告

クリエイト21

1. はじめに

本年度の目標として、就労へ2名送り出すということを念頭に活動してきたが、実際は実習1名のみでの活動となっている。就労への意識付けが足らなかったこと、本人たちへの促しも出来ていなかった。就労支援系の事業所であり、訓練を重ねることが事業所としての本来の目的からは、達成出来ていないと思われる。厚生労働省からの通達でも、就労系サービスの事業所においては、就職させていく、就職が困難な利用者は、新たな方向性を導き出すという風な流れであり、まだまだ働ける人、働きたいと思っている人に関しては、少なくとも経験を重ね、就職へ結びつぐための活動を重点的に行なう必要がある。その為に、必要なことを次年度は再度洗い出し、就職するためには何が必要で、意識として、どういう位置づけをしていくかを検討し、実行していく。

2. 事業内容

- a. サービス提供時間 月～金曜日の時間帯。
基本的には、土、日、祝日は休み。
作業等の状況により、開所する場合もある。

午前9時30分から午後3時30分 ※ただし利用者の状況に依る。

<1日の流れ>

9:15	開所
9:30	全体及び作業ミーティング（各々の1日の予定を確認） ミーティング終了後～12:00 作業 ※終了後、終りのミーティング
12:00～13:00	昼休み
13:00～13:10	クリエイト21の清掃
13:20	作業開始
15:30	閉所

<1週間の流れ>

	午 前	午 後
月	屋外作業・内職	内職
火	屋外作業・内職	屋外作業・内職
水	屋外作業・内職	屋外作業・内職
木	屋外作業・内職	屋外作業・内職
金	ミーティング・屋外作業・内職	内職

1週間の流れは、基本的に決まっているが、作業の状況等により変更する場合もある。その際には、当日アナウンスしている。

b. 就労支援作業内容

・喫茶

福祉センター愛らんど内にて喫茶コーナーの運営、サービス提供
しまなみデイサービスへの出張カフェ、バザー参加

・清掃作業（施設外就労）

公園（市内五ヶ所）の定期清掃
糸山展望台、トイレ、駐車場の定期清掃
ATMコーナーの定期清掃

・内職作業（タオル箱詰め、袋入れ、検品、文具等の封入、製菓店の箱折り 体操帽のネーム付け）

施設外就労（ネーム付け、箱入れ、封入等）

* 施設外就労での作業は、契約している企業へ行って作業を行っている。

その他、市からの請負業務なども依頼があれば、行っている。

本年度は、スリーデーマーチのグッズの袋詰め、今治市のごみカレンダーの
仕分け作業を行っている。

c. その他の事業

行事名	日程	利用者	職員
つぼみ交流会	平成 30 年 4 月 24 日	16	6
元気フェスタ	平成 30 年 6 月 23 日	7	3
暑気払い	平成 30 年 8 月 14 日	10	5
忘年会	平成 30 年 12 月 28 日	9	7
避難訓練	平成 31 年 2 月 14 日	18	4

d. その他 生活指導等

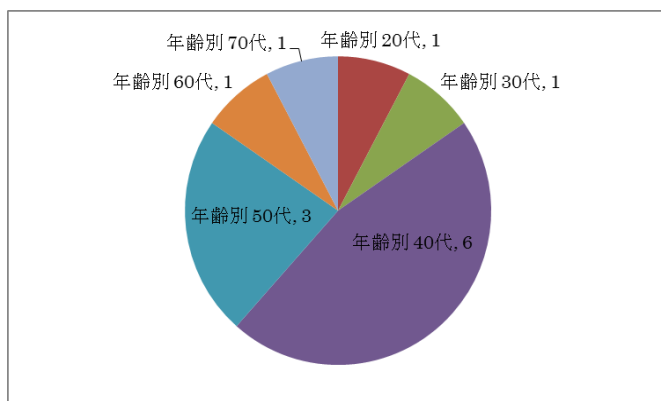
状況に応じて、入院されている利用者への面会、自宅等生活している住居への訪問を行うこと
で、生活状況や本人の状態を把握し、長期に渡って通所出来ていない利用者への支援を行い、
通所に繋げている。状況によっては、家族間の関係も含め、福祉、介護サービス等 各関係機
関と連携し生活支援を行っている。

3. 利用状況

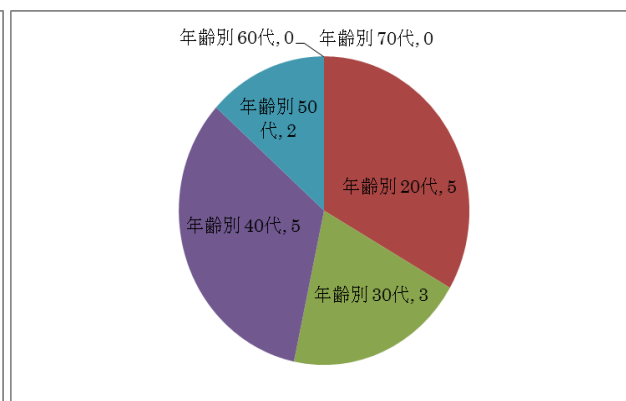
利用者構成(平成 30 年度末現在)

登録者数 名		性別	
		男性	女性
年齢別	20代	1	5
	30代	1	3
	40代	6	5
	50代	3	2
	60代	1	0
	70代	1	0
計		13	15

利用状況 男性



利用状況 女性



特徴として、男性、女性ともに

40代以下の利用者の人数が多く、若い世代が目立つ。就労へ向けての訓練も含め、次へのステップに繋がるための支援を行える体制になっており、利用者のニーズにこたえている。

帰すう状況

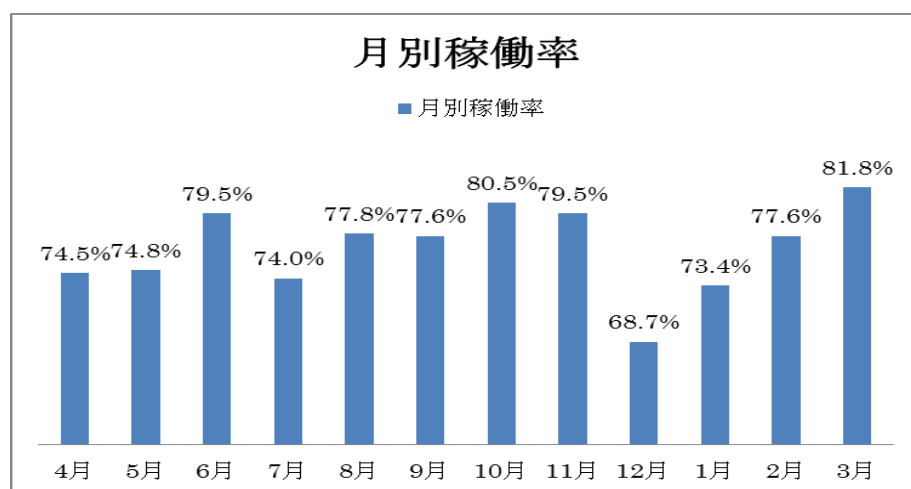
退所者実数									
社会復帰した者			その他の者						合計
就労等	家庭復帰	小計 A	再入院	在宅	死亡	他施設	その他	小計 B	C
				1		1			2

・本年度は、2名の退所に至った。

一名は、本人の病気と事業所のサービスと自分が望んでいる部分の乖離があって、続けることが難しくなってきたためである。もう一名は、同法人内の別の福祉サービス移行となった。

月別利用者状況

月	登録者数	開所日数	利用者数	延利用者数	平均利用者数	新規登録者数	退所者数	月別稼働率
4	26	20	26	298	14	0	0	74.5%
5	28	21	28	314	14	2	0	74.7%
6	27	22	27	350	12.9	1	1	79.5%
7	27	21	27	311	14.8	0	0	74%
8	27	23	27	358	16.2	0	0	77.8%
9	27	17	27	264	15.5	0	0	78.8%
10	28	22	28	354	15.4	1	0	80%
11	26	21	26	334	15.9	0	1	79.5%
12	26	19	26	261	13.7	0	0	68.6%
1	27	19	27	279	14.7	1	0	73.4%
2	27	19	27	295	15.5	0	0	77.6%
3	28	20	28	327	16.3	0	0	81.7%
計	324	244	324	3745	181.9	5	2	76.7%
平均	27	20.3	27	312	15.2			77.8%



月別の平均利用者数は、前年と比べると増加している。一つには、登録者数が増えたことと、すでに利用している利用者の利用日数の増加によるものである。通所状態を見ながら、日々の支援の成果である。月別の稼働率は、70%を超えているが、季節の変わり目や長期の休みがある時には下がる傾向がある。精神障がいの特徴的な部分で、安定した状態が一定ではないというのが、ここに見られたため、体調管理、疾患の自己受容の支援を強化することで安定した通所に繋がるのが課題となった。

見学者状況

見学者

見学希望者

4月	0	10月	1	4月	1	10月	1
5月	3	11月	1	5月	0	11月	0
6月	0	12月	0	6月	2	12月	0
7月	0	1月	0	7月	1	1月	1
8月	4	2月	2	8月	1	2月	2
9月	3	3月	2	9月	1	3月	3
		計	16			計	13

見学者の紹介先内訳	
相談支援事業所	6件(ときめき 今ねっと)
医療機関	8件(正光会、アキクリニック Dクリニック 等)
その他	2件(らぼーる 保健師)

見学希望者の紹介先内訳	
相談支援事業所	6件(ときめき 今ねっと)
医療機関	6件(アキクリニック Dクリニック 正光会等)
その他	1件(保健師)

今年度の特徴として相談事業所 医療機関からの紹介が多くなっている。

その他、ご本人やご家族らから電子媒体で情報を確認して直接問い合わせるケースも多く見られた。また、発達障害を伴う方の相談、見学が増えており、今後の対応として初期対応及び障害特性に応じた環境整備を行えることが責務となってくる。

ヒヤリハット・事故報告状況

ヒヤリハット件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
12	4	2	2	1	3	3	3	1	1	0	2	34

内訳 作業関係(内職24件、清掃1件) その他(9件)である

作業でのヒヤリが圧倒的に多いのは、職員間の連携が取れてないことでの伝達ミスが目立っている。内容を精査すると、指示系統のずれで タイムラグが発生して工程が遅れたりという状況がある。無駄な作業、時間を省くことで、作業能力の向上に繋がる。

事故報告 なし

送迎状況

送迎回数

4月	54	11月	57
5月	52	12月	57
6月	56	1月	27
7月	50	2月	106
8月	52	3月	128
9月	47	計	750
10月	64	平均	63

送迎数 9名利用

4月	6	11月	7
5月	6	12月	7
6月	6	1月	7
7月	6	2月	8
8月	6	3月	9
9月	7	計	82
10月	7	平均	6.8

延人数

4月	98	11月	116
5月	87	12月	79
6月	104	1月	40
7月	91	2月	106
8月	87	3月	128
9月	85	計	1141
10月	120	平均	95

就労を前提とした支援の場合、移動手段は重要である。また、社会生活において移動手段が徒歩だけの方は、公共の交通機関を利用することで生活の幅が広がるため送迎利用は、慎重に行っている。

就労支援状況

工賃支給

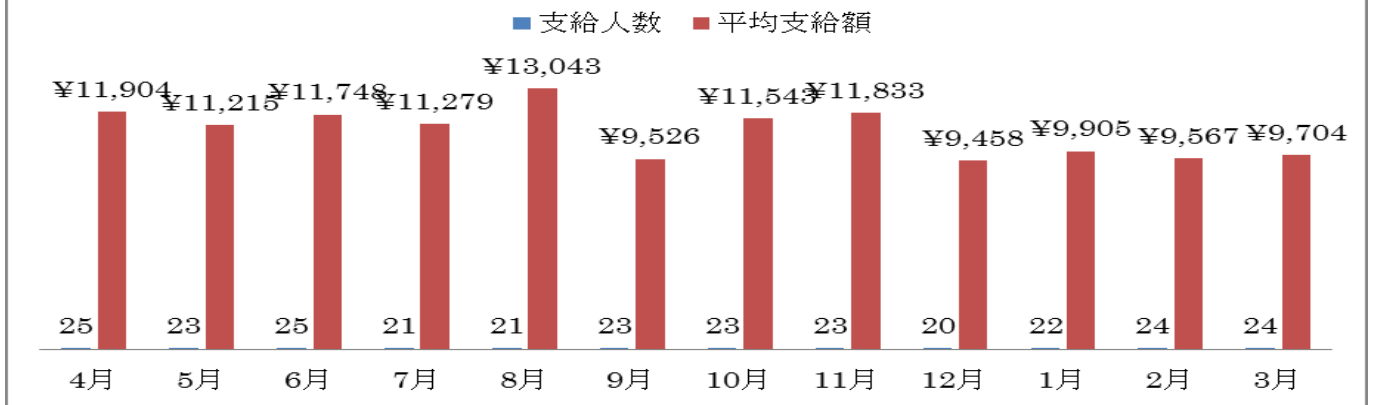
月	工賃平均額(円)	月	工賃平均額(円)
4月	11.904円	10月	11.543円
5月	11.215円	11月	11.833円
6月	11.748円	12月	9.458円
7月	11.279円	1月	9.905円
8月	13.043円	2月	9.567円
9月	9.959円	3月	9.567円
		賞与	32.790円

平成30年度工賃実績報告額 14.482円/月 347円/時給

平成29年度工賃実績報告額 11.816円/月 321円/時給

(※平成29年度 愛媛県の就労継続支援B型事業所の平均工賃 16.264円/月)

平成30年度工賃支払状況



平成30年度は、工賃の支払額はアップし、平均時給も上がった。愛媛県の平均から比べると2000円弱の開きがあるが、障がい特性もあって、安定した通所が望めない人も含めての人数になっているため、バラつきが発生した。多い人と少ない人の差が大きいのは、精神障がいの特性もあり、一概に同じ状況下での判断は難しいが、着実に工賃がアップしている。

就労状況

就労数	離職者	実習	累計労
0名	0名	1名	0名

就労はゼロ、実習は1名にとどまった。

就労者数の目標は2名だったが、未達成となった。理由は、就労意欲が落ちた方と体調不調が理由で就労につながらなかった。

就職するためには必要なことを中心に支援し、特に就労の基盤となる生活支援を重きに置いているクリエイトとしては、そこが成り立っていないと、次へのステップへ踏み出せないため、時間がかかっている。環境の変化を望まないご本人やご家族の意向もあるが、社会で自立して生活するための一つとして就職することは、人権の尊重であることを利用者、支援者ともに共通の理解をすることの重要性が課題となった。

4. その他

研修等

研修名	日時	職員数
算定基礎事務講習会	平成30年6月7日	1名
防災に関する説明会	平成30年6月20日	1名
処遇改善加算等研修	平成31年2月5日	1名
発達障がいの従業員の評価とキャリアアップについて	平成31年2月25日	1名
環境雇用整備資格Ⅲ種	平成31年2月25日	1名

法人研修会	平成31年2月26日	1名
虐待について	平成31年2月27日	1名

会議等

会議名	日時	職員数
社会復帰	平成30年4月11日	1名
就労支援部会	平成30年4月18日	1名
就労支援部会	平成30年5月14日	1名
就労支援事務局会	平成30年6月7日	1名
社会復帰	平成30年6月13日	1名
施設・作業所関係合同説明会	平成30年7月2日	1名
部会	平成30年7月5日	1名
就労支援部会	平成30年7月18日	1名
就労支援事務局会	平成30年8月7日	1名
地域福祉を考える会	平成30年8月8日	1名
就職準備フェア	平成30年9月14日	1名
高次脳連絡会	平成30年10月10日	1名
事務局打合せ(部会)	平成30年10月8日	1名
集団指導	平成30年10月25日	1名
就労支援部会(連携)	平成30年11月2日	1名
就労支援部会(WGについて)	平成30年11月21日	1名
就労支援事務局会	平成30年12月12日	1名
部会(WG)	平成30年12月14日	1名
就労支援部会(WG報告)	平成31年1月16日	1名
部会事務局会	平成31年2月9日	1名
就労支援・事務局会	平成31年3月13日	1名
部会・全体会	平成31年3月14日	1名
就労支援部会	平成31年3月20日	1名

うっとこ(介護サービス包括型指定共同生活援助事業)

1.はじめに

支援の必要とする障がい者に適正な支援を行うことを目標にそれぞれに取り組んできたが、前年度とほぼ同数であり、結果的に成果を得ることができなかった。入居者(及びその家族)の高齢化問題にも直面し、介護保険サービスへのスムーズな移行のための関係機関との連携構築の難しさを痛感した。より良い支援ができなかった要因に、どの取り組みにも具体的な計画が欠けており、そのため積極的な行動につながらなかった。かつ支援者間の支援の方向性を統一することができなかったことが挙げられる。

次年度においては、障がい者の個々のタイムリーなニーズを把握し、それに合ったサービス提供ができるように取り組む。入居者(及びその家族)の高齢化問題は当然のこと深刻化しており、早急な取り組みが必要である。また、若年層入居者には、地域での単身生活に移行支援できる体制作りに取り組む。全ての取り組みにおいて「チーム支援」を意識し取り組むことで、入居者の安定した生活に繋げ、支援者のスキルアップに繋げたい。

2.事業内容

a.サービス提供時間 午前8時30分から午後19時。ただし、入居者の状況に応じる。

b.サービス提供内容

ア 個別支援計画の作成

イ 夕食の提供(月～金曜日、祝日)

ウ 日常生活支援

エ 相談支援

オ 受診援助

カ 関係機関等との連絡調整

キ その他、入居者の状況に応じて支援

c.その他の活動

ア 避難訓練

3.入居者の状況 ※平成31年3月末

a.入居者の構成(性別・年齢)

年齢	総数	性別	
		男性	女性
10代	0	0	0
20代	3	1	2
40代	3	2	1
50代	4	3	1
60代	6	3	3
合計	16	9	7

b.支援区分状況

支援区分	総数	性別	
		男性	女性
1	0	0	0
2	10	6	4
3	5	2	3
4	1	1	0
合計	16	9	7

入居状況 うつこ1 (10名 / 定員 12名)

うつこ2 (6名 / 定員 7名)

c.入居者対応携帯電話入出電件数(平成30年12月より集計)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
入電									14	12	3	9
出電									7	6	6	6

d.月別入居者状況

月	定員	入居者数	体験入居者	新規入居者	退去者	入院者数
4	19	17	0	0	0	0
5	19	17	0	0	0	1
6	19	17	0	0	0	1
7	19	17	0	0	0	1
8	19	17	0	0	0	1
9	19	17	0	0	0	0
10	19	17	1	0	1	0
11	19	16	0	0	0	0
12	19	16	0	0	0	1
1	19	16	0	0	0	0
2	19	16	1	0	0	0
3	19	16	0	0	0	0
合計			2	0	1	5

e.入居の理由

住居確保 退院後の	自立訓練	死亡・高齢 同居者	その他	合計
0	0	0	0	0

f.退去の理由

単身生活	他施設	入院	在宅	死亡	その他	合計
0	0	1	0	0	0	1

4.見学者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
うっとこ1	1	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	5
うっとこ2	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	5

5.問い合わせ(相談)件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
うっとこ1・2	1	0	1	0	2	1	6	2	2	3	1	1	20

らぼーる

1. はじめに

地域活動支援センターとしての役割を拡充するために、今年度より「サロン～気楽座～」を開催し、福祉サービスを利用出来ていない人へ向けてらぼーるの周知をした。利用者増員には至っていないが地域活動支援センターとしての役割が果たせるよう今後も取り組んでいきたい。

2. 事業内容

a. 利用時間 午前10時から午後3時。ただし利用者の状況に応ずる。

<1日の流れ>

10:00	開所
10:20	午前のプログラム開始
12:00	午前のプログラム終了
12:00~13:00	昼休み
13:00	午後のプログラム開始
14:40	午後のプログラム終了
15:00	閉所

b. 活動内容

- ア 生産活動 内職：タオル検品 タオル袋入れ タオル箱入れ バザー等
- イ 学習会
- ウ 体づくり
- エ 地域のイベントへの参加
- オ その他

<1週間の予定>

	午 前	午 後
月	内職	内職
火	内職	内職
水	内職	内職
木	内職	内職
金	内職	内職

3 活動報告

a 生産活動

内職(タオル検品 タオル袋入れ タオル箱入れ)
バザー等

日時	行事名	開催場所	参加者	
			利用者	職員
8/23（木）台風の為中止 （7月中旬～準備始める）	ときめき夏祭り	テクスポート		
9/9（日）10時～13時半	わいわいフェスタ	サンアビリティー	6	2

b 創作活動 テーマ「元気に過ごす」

日時	行事名	開催場所	参加者	
			利用者	職員
4/3（火）11時45分～14時	お花見	吹揚公園	4	2
5月～6月 利用日に随時	体力測定（自分の 体力レベルを知ろう）	らぼーる	8	2
7/30（月）10時半～11時半	出前講座（みんな で始めようメタボ対策）	らぼーる	4	2
10/2（火）10時半～11時半	出前講座（おい しく食べてメタボ対策）	らぼーる	4	2
10/22（月）10時半～14時	柿狩り	もぎとり果樹園 芽野歌	5	2
12/19（木）10時～14時	らぼーるカーニバル	らぼーる	8	3
1/23（水）10時半～15時	食べて作って観光（さ ざなみワークショップ）	さざなみ園	6	3
3月 利用日に随時	体力測定（自分の体 力レベルを知ろう）	らぼーる	10	3

* 各自に役割があるときの方が参加率良く、利用者間で協力し合うことが見られた。
役割があることで自分の居場所を感じられる創作活動を取り組んでいきたい。

c その他の活動

地域交流 気楽座

開催日	行事名	開催場所	参加者		
			当事者・家族	関係機関	スタッフ
8/16(木)	気楽座	らぼーる	8	1	4
11/23(金)	気楽座	らぼーる	3	0	3
2/20(水)	気楽座	らぼーる	3	0	4
3/13(水)	気楽座	らぼーる	6	3	3

避難訓練

1/16 (水) 参加者 9名 内利用者6名

4. 利用状況

a. 利用者構成(平成30年度末現在)

		性別	
		男性	女性
年齢別	20代		2
	30代		1
	40代	2	3
	50代	6	3
	60代	2	4
計		10	13

b. 見学者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
見学者	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2

月	開所日数	実利用者数	延利用者数	平均利用者数	新規登録者数	退所者数	登録者数
4	20	14	126	6.3			22
5	21	12	126	6			22
6	21	11	118	5.6			22
7	18	12	112	6.2			22
8	20	12	113	5.7	1	1	22
9	17	11	89	5.2			22
10	22	12	120	5.4			22
11	22	13	143	6.5			22
12	19	12	117	6.1	1		23
1	19	12	110	5.7			23
2	19	13	102	5.3			23
3	18	14	119	6.6			23
計	236	148	1395		2	1	
	19.6	12.3	116.2	5.88			

* 退所者理由：死亡

5. 工賃支給状況

月	H30年度						
	総収入額	工賃支払金額	時給	工賃支払い			実作業 人数
				上	下	平均	
4	37,105	32,960	160	7,040	160	2,535	13
5	36,718	33,375	150	7,275	525	3,034	11
6	33,979	31,430	140	7,210	70	3,143	10
7	29,562	26,845	130	5,460	195	2,440	11
8	25,706	22,080	120	4,800	180	2,007	11
9	20,309	17,600	110	3,685	495	1,760	10
10	22,892	19,500	120	5,820	180	1,772	11
11	47,666	43,035	190	9,120	285	3,584	12
12	30,126	27,360	160	6,800	880	2,487	11
1	22,333	19,260	120	4,920	60	1,605	12
2	18,273	17,380	110	4,785	55	1,336	13
3	16,785	16,569	108	4,752	108	1,176	14
賞与	27,158	27,017	13	6,077	13	1,301	15
計	346,018	334,411	134.8	5,980+	247	2,168	11

今治市さざなみ園

1. はじめに

利用者の増員と工賃向上を目的に支援に取り組んだ。

作業の新規導入で、農作物の生産販売を試み販路の拡充も行い、工賃向上につながった結果、1日の利用者数も増加傾向にあった。しかし、改修したさざなみ café の利用者が少なくイベント開催等今後の課題が残った。

また、高齢化が進み単身生活者も増加する中で、生活支援が必要になり関係機関と連携し支援にあたった。

2. 事業内容

a. 利用時間 午前 10 時から午後 15 時 30 分。ただし、利用者の状況に応じる。

(スケジュール)

9 : 30	開所
10 : 00	午前のプログラム開始
12 : 00	午前のプログラム終了、昼休憩
13 : 00	昼休憩終了、午後のプログラム開始
15 : 00	午後のプログラム終了 閉所

(週間スケジュール)

	午 前	午 後
月～金	・内職、除草作業、サロン業務	・内職、除草作業、サロン業務

* 除草作業は季節に応じて変動あり。

b. 生産的活動

・内職作業

小物作成販売（さざなみ園オリジナル商品等）、

軍手作業

・請負作業

多々羅道の駅除草作業

・サロン業務

カフェ運営 出張販売 ワークショップ等の開催 授産製品委託販売

生産活動収入(単位 円)

バザー	御島	出張販売	サロン	軍手	清掃	その他	合計
105,650	49,997	63,360	125,547	28,365	420,000	3,420	796,339

サロン来客数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
28年度	31	26	25	28	37	11	15	5	30	14	32	4	258
29年度	19	10	5	13	6	7	33	5	21	0	2	0	121
30年度	21	3	14	16	1	25	13	0	9	17	9	5	122

*28、29年度は新ふるさと事業を利用

年間工賃表

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
工賃計	65,055	48,875	58,950	32,050	50,015	33,750	59,575	46,380	31,710	33,505	46,830	47,300	553,995
人数	18	18	18	17	18	18	18	19	18	18	18	17	215
平均額	3,614	2,715	3,275	1,885	2,779	1,875	3,310	2,441	1,762	1,861	2,602	2,782	2,576

c. 創作的活動

事業名	開催場所	実施期間	参加者数	講師等
料理教室	さざなみ園	4/23、6/8、9/14、2/20	35	
リフレッシュディ	さざなみ園等	5/9、7/4、12/21	25	

d. その他の活動

事業名 (キッチンフリーズ)	実施目的	開催場所	実施期間	参加者数
各種イベント参加 (地域まつり等)	生産活動 地域交流	大三島伯方 大島今治市 内	4/15、5/3、5/12、6/17、 8/18、10/7、10/14、 10/20、11/18	16
社会福祉協議会交流事業	地域交流	今治市社会 福祉協議会 大三島支部	4/24、5/21、6/28、7/25、 8/10、9/13、10/11、11/5、 1/15、2/18、3/13	95
参道清掃	地域交流	参道	5/2、8/30、9/27、11/26、 12/17、12/27、2/27、3/25	70

しゃべり場	地域交流	大三島・伯方 大島	1/23、7/27、11/22	47
1day ランチ	地域交流	さざなみ園	7月20日	19
マンドリンコンサート	地域交流	さざなみ園	9月17日	16

3. 利用者の状況

a. 利用者構成

ア 性別・年齢別

年齢	総数	性別	
		男性	女性
30代	4	2	2
40代	6	2	4
50代	11	7	4
60代	6	2	4
70代	2	1	1
合計	29	14	15

イ 障害種別

種別	男性	女性	合計
精神障害	8	8	16
知的障害	5	7	12
身体障害	1	0	1
合計	14	15	29

ウ 世帯状況

		単身生活者	家族と同居 (高齢者)	家族と同居	施設入所	合計
		男性	精神	1	5	2
	知的	2	0	2	1	5
	身体	0	1	0	0	1
女性	精神	3	1	4	0	8

	知的	1	3	3	0	7
合計		7	10	11	1	29

* 高齢は75歳以上とする。

エ 地域別

支所	男性	女性	合計	年間実利用人数
大三島	6	3	9	6
上浦	1	2	3	2
伯方	8	3	11	8
宮窪	3	2	5	4
吉海	1	0	1	1
合計	15	15	29	21

* 年間実利用人数は年間1回以上通所とする

る

b 月別利用者状況

月	登録者数	開所日数	利用実人員	利用延人員	平均利用者数(1日あたり)	新規登録者	退所者
4		20	19	135	6.75	0	0
5		21	19	131	6.24	0	0
6		21	21	140	6.67	0	0
7		19	18	129	6.79	0	0
8		20	19	136	6.97	0	0
9		18	18	116	6.44	0	0
10		22	19	141	6.41	0	0
11		21	19	150	7.14	1	0
12		19	18	129	6.79	0	0
1		19	17	138	7.26	0	1
2		19	18	139	7.32	0	0
3		20	17	142	7.10	0	0
合計		239	-	1626	6.32	1	1
平均		19.9	-	135.5	年度末登録者数		

1日平均利用者数前年度比 100.3%

* 年間実稼働率：67.3% 年間平均利用者数：6.32人/日

* H29年間実稼働率：66.7% H29平均利用者数：6.11人/日

c. 利用中断・退所の内容

就労等	他施設	入院	在宅	死亡	その他	合計
0	0	1	0	0	1	3

d. 見学者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
見学者数	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3

e. 訪問回数

7月3件・10月1件 合計4件

f. 送迎利用人数

	大三島	伯方	大島	計
4月	6	5	39	102
5月	2	48	43	93
6月	7	57	37	101
7月	3	52	41	96
8月	5	55	38	98
9月	6	47	33	86
10月	6	57	42	105
11月	3	62	40	87
12月	1	53	33	87
1月	2	57	32	91
2月	9	57	33	99
3月	18	55	27	100
計	68	657	438	1163
1ヶ月平均	5.7	54.8	36.5	96.9

*参考

前年度計	74	550	406	1030
1ヶ月平均	6.2	45.8	33.8	85.8